

幸手市ボランティア・市民活動センターだより

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

近年の災害において、ボランティアによる支援は災害からの復興に欠かせないものとなっています。被災地における市町村社会福祉協議会の役割として、災害ボランティアセンターの設置・運営が一般的となってきました。

幸手市社協では、災害ボランティアセンターの必要性を深刻に受け止め、平成19年9月15日の幸手市防災訓練と協同実施を契機に、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施しています。

平成22年度災害ボランティアセンター立ち上げ訓練風景 10月16日 さくら小学校にて

ボランティア・受付班訓練



災害復興協力ボランティアの受付業務を担当します。

マッチング班訓練



被災者からの支援ニーズとボランティアの活動希望を結び付ける役割を担当します。

福祉教育支援用ホームページを公開しました。

子供の時から福祉の芽を育てよう。

市内小・中学校では、社会福祉の理解と関心を高め、思いやりの心を育てることを目的とした福祉教育を授業に取り入れております。

幸手市社会福祉協議会では、福祉教育の支援のため、体験学習の講師相談や体験用具の紹介・貸出などの情報を紹介したホームページを公開しました。福祉教育担当の先生方、是非ご利用ください。

(福祉教育支援トップ 体験学習風景)



(体験学習用具の貸出)



(福祉教材ビデオの貸出し)

「朗読ボランティアグループ幸手」交流会



「朗読ボランティアグループ幸手」では、市の広報紙、社協さつて市等を録音し、視覚に障がいを持つ方々に配付しています。

毎年1回、利用者の方々をお招きし、会員との交流会を開催しています。

利用者の皆さんと会食後、会で用意したイベント等で楽しいひと時を過ごしました。今年は、会員の朗読技術を生かした朗読劇を披露し、皆さんに聞いていただきました。